



議会だより

あさぎ町議会だより

No.41
H26.5.1 発行

[あさぎ町議会](#) [検索](#)

3月
本会議

一般会計当初予算

原案通り可決 2P

一般質問に9人が登壇 10～14P



お金の使い方

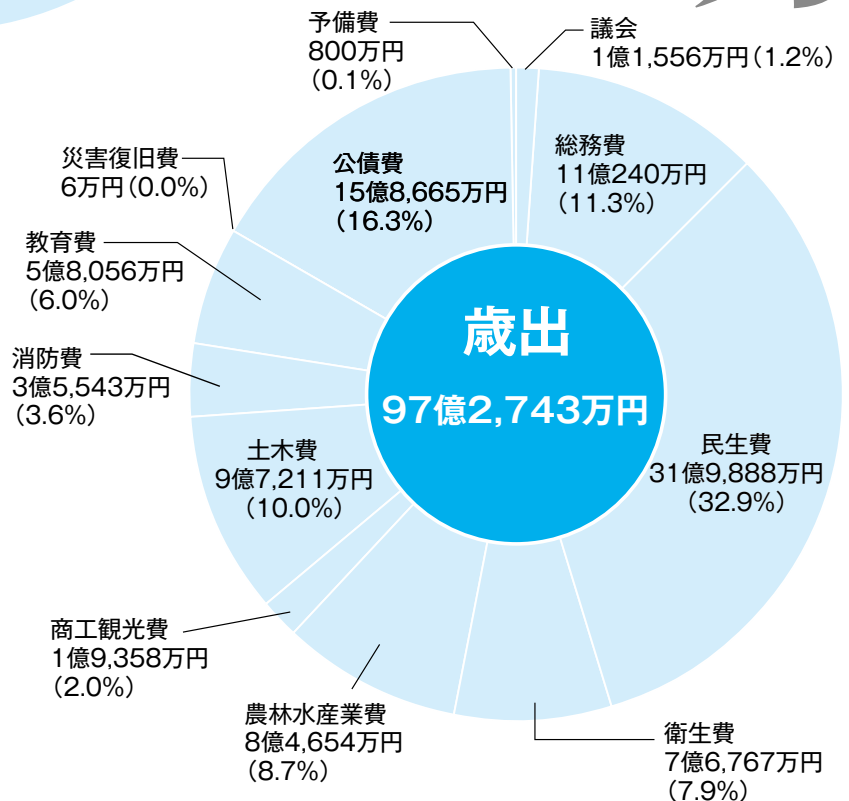
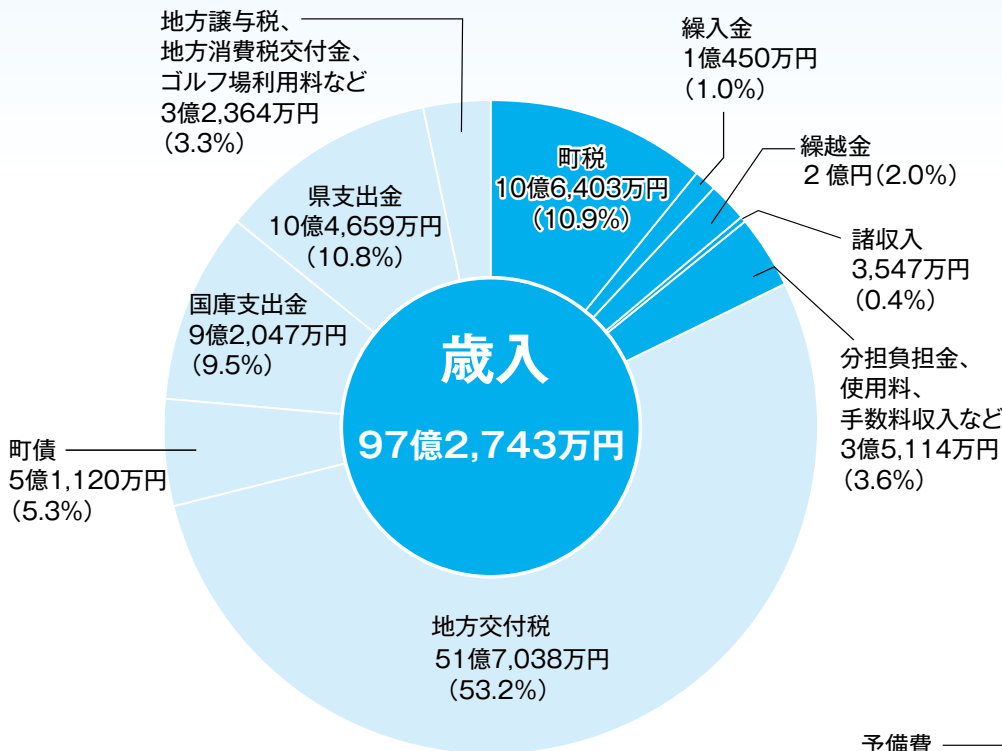
平成26年度一般会計当初予算

97億2,743万円

平成26年度一般会計当初予算が、第10回会議（3月定例会）で可決されました。

本年度より、昨年まで10年間続いた合併特例措置が終了したことで普通交付税の段階的削減が行われますので、さらなる行財政改革が必要になってきます。

普通交付税については1億5千万円程度の減額を見込んでおり、議会費、総務費、商工観光費、公債費が前年度対比でマイナスになっています。



会計別の予算額

総額	152億4,659万円
一般会計	97億2,743万円
特別会計	55億1,916万円
特別会計内訳	
国民健康保険	21億8,990万円
後期高齢者医療	1億8,580万円
介護保険	17億1,768万円
介護サービス	4,383万円
簡易水道事業	3億4,960万円
水道事業	7,849万円
下水道事業	8億3,622万円
上財産区	7,290万円
球磨郡障害者認定審査事業	1,029万円
球磨郡介護認定審査事業	3,445万円

*水道会計は収益的支出と資本的支出の合計です。

(千円以下を四捨五入しています。)

総務文教常任委員会所管課分

（総務課・会計課・企画財政課・教育委員会）

答

23年度、24年度も含め未納分があるので、担当者

なっているか。

問

給食費の滞納分徴収は大変だと思うがどう



上総合体育館

り組んで行きたい。

後共今まで以上に周知徹底に取り

設置してある。使用方法は、今

り、他にも民間の施設と病院等

り、他にも民間の施設と病院等

民に周知できているのか。

問

今回新たにAEDが1台購入される。現在の設置状況は。又、使用方法は町



高山運動公園グラウンド

問

高山運動公園の整備事業は。



あさぎり中学校給食の様子

が昼夜、土日関係なく徴収に頑張っている。

しているか。

賠償金が請求される時代になったが学校では保険加入の把握は

問

最近自転車事故に対しての保護者への多額な



柳別府臼太鼓踊り

している。

答

申請のあった団体に対して、実績に応じて計上

年度36万円の計上だが。

問

前年度76万5千円が今年度

きたい。

理対策等、年度別に整備していきたい。

答

グラウンドや相撲場等、排水が悪いので、排水処

置を考えている。

答

10月までに、各地区からの要望を取りまとめ、設

来ないか。

問

通学路以外にも、暗い場所に防犯灯の設置は出



あさぎり中学校の駐輪場

者、学校にも指導していきたい。

た。今後共、安全面も含め、保護

答

学校に専門の方に来て頂き、自転車の点検も兼ねて保険加入の徹底をして頂い

厚生常任委員会所管課分

(税務課・町民課・福祉課・保健環境課)

問

認知症高齢者対策としてのGPSは何台あるか？現在は1台が稼働している。徘徊者への早期発見・事故にも活用していきたい。



使用するGPS発信機

問

放課後児童健全育成事業(学童保育)の現状は？

答

H25年は5ヶ所、H26年度より6ヶ所(上児童クラブ実施予定)年250日で6クラブ188名。

問

生ゴミ事業拡大の見通しと堆肥の商品化は。

答

現在免田地区で実施中。今後、今井・堀角・柳別府に拡

大する予定。事業系のごみが増加傾向にあるため生ゴミの分別の回収に協力いただくよう進めていきたい。商品化については3月中旬を目途に直接販売予定。



生ゴミ堆肥化商品(アミノスイート)

問

フッ化物洗口について保護者の不安はないか？

答

町内での問い合わせはなし。薬剤の使用については歯科医師会の先生の指示のもと適切な濃度で実施している。13保育所100%、小学校96%実施(申しこみによる実施)

問

26年度事業説明にヘルシーランド、温華乃遥、高山の温泉事業について、指定管理者(社協)のインセンティブ(やる気をおこさせる刺激、動機付け)を高め改善を図るとある。そうであるならば、平成27年度指定管理料は、本年度より減額した債務負担行為となるべきではないか。

答

事業の推移をみながら27年度の指定管理委託料を算定する際に十分検討した上で反映させるよう努力していきたい。

問

子ども医療費助成事業について今年度から助成対象を中学3年生まで拡大し、助成方法を全て償還払いにすることになったが、医療費削減の工夫は？

答

現在コンビニ受診(時間外・休日受診)により医師の負担が非常に大きい。福祉課・保健環境課連携した活動により、病院へのかかり方や病気への対応等について情報を発信している。償還払いにすることにより3%の医療費削減を考えている。

問

国民健康保険税と医療費の県内においてのランクはどのあたりか。

答

高額となっている原因の追求は。H24年1人当りの国民健康保険税は10万8989円、療養費は32万3991円、1人当りの保険の調定額は県内で一番高い、当町は一般財源からの繰り入れ(法に基づく繰り入れを除く)せず運営しているため、国保の運営面から見ると適正だと思われる。

平成26年4月1日から あさぎり町子ども医療費助成制度が変わります

- ・対象年齢が中学3年生までに拡大されます。
- ・病院などの窓口で一部負担金をお支払いいただく必要があります。
- ・必要な場合は受診したその日に助成金を請求できます。
- ・申請期限が6カ月以内になります。

建設経済常任委員会所管課分

(農林振興課・商工観光課・建設課・上下水道課)

問 大豆生産規模拡大補助金の効果見通しとWCS収入の比較は。

答 大豆12万円、WCS8万円と試算している。生産意欲向上につながるを期待している。

問 有機農業推進補助金の利用用途は。

答 有機センター堆肥の助成である。H24実績42団体506t105万5千円。

問 条件不利な地域に中山間地域等直接支払制度に多面的機能支払制度を上乗せ出来ないか。

答 現在、中山間地域で41集落、1個人が中山間地域直接支払制度を利用している。今後慎重に検討して対応したい。

問 農振地19%が中山間地域等直接支払、多面的機能支払制度の両方に乗っていないが。

答 制度が変わっていく中で、参加されていない農地につ

いては積極的な推進を図っていく。

問 起業支援型雇用創造事業の内容は。

答 民間企業から3件の応募があったが、今回(株)新和コンサルタンツで3名雇用し葉草栽培を1ha作付予定。

問 道路維持費の中で多良木相良路線(二子踏切)の歩道整備は。

答 平成26年度事業として県に要望している。



多良木相良路線 (二子踏切)

問 シンボルロードの東屋等が老朽化しているが、今後の管理は。

答 現地確認しながら管理を行う。



シンボルロードの東家

問 道路維持費の登記業務はどの様になって来たのか。

答 現在職員1名で現年度分を処理しており、過年度分の未登記分が多くある。

問 須恵中島親水公園活用について。

答 高齢者グラウンドゴルフ等について検討したい。

問 須恵中央ハイツの応募状況は。

答 32名が応募、辞退3名、審査欠格6名、23名で抽選を行った。

問 地域の話し合い推進補助金の用途は。

答 地区での話し合いで人・農地プラン(担い手育成)の合意形成をはかる。

問 農業に関する協議会が多数あるが、方向性は一致しているか。

答 国・県との動きに合わせて、方向性の一致をみている。

問 畜産振興事業補助金のヘルパー事業への変更理由は。

答 使用頻度の多い利用実績による組み替え。

総括質疑

問 子ども育成奨励支援事業の全国大会への出場支援について増額となっているが。

答 当初、学校のクラブ活動の延長による九州大会、全国大会に出場とする生徒児童を対象としていたが、学校活動以外のクラブ等にも対象としたため。

問 国道の通行に対して、危険箇所空き家対策は。

答 危険な空き家の所有者について、現在取り壊し等の指導勧告は行っていないが、通行の阻害になる場合は願う。



倒壊が危ぶまれる空き店舗

問 スクールバスの任意保険料の内容は。

答 受託者側が負担し、対人・対物無制限、同乗者、搭乗者1人1000万円となっている。

問 総合窓口と東庁舎、総合福祉センター、議場の移転について。

答 総合窓口を優先し実施したい。他の庁舎移転は時間をかけて検討したい。

問 農業基盤整備促進事業の予算が削減された理由は(1800万減)。

答 4地区とされていたが、3地区とされたため。

問 販路拡大事業の予算減額理由は。

答 事業費の見直しを行い、一般財源充当ということもあり、大幅に減額した。

問 アンテナショップ事業の顛末は。

答 費用対効果は、販売面からみれば残念な結果になったが、総合的には様々な取組みができた。町民には4月号の広報紙で状況説明

をしたい。

問 くま川鉄道の田園シンフォニー関連の予算計上は。

答 今回、予算計上は行っていない。今後、岡留幸福駅周辺整備については誘客促進を図る意味合いから色々な整備を行っていききたい。又、現在はいくま川鉄道からの要望を受け各駅で「おもてなし隊」を組織している。



くま川鉄道田園シンフォニー

問 ふるさと振興社のあり方の見直しを言ってきたが、何ら見直しがされていない。しっかりと方向性を示すべきではないか。

答 本年度、振興社のあり方を真剣に検討していきたい。

問 深田高山全体にイルミネーションを飾り、観光客の誘客を図れないか。

答 イルミネーションというイメージはおもしろい。その可能性はあるので、検討させていただきたい。

問 住宅建設費の設計監理費が高すぎるのでは。

答 設計監理費は国の基準によって積算している。再度精査して発注したい。

問 須恵町営住宅建設と須恵小学校複式学級の回避は。

答 入居要件は、須恵地区からの強い希望もあるので今後慎重に検討したい。複式学級の回避の思いは同じなので、努力したい。

問 町単独住宅の払い下げは。

答 現在の状況では難しいので、投資額を回収した後に払い下げをしたい。

問 鳥獣被害防止事業費で、捕獲の証拠となる部位は国内統一されているか。

答 鹿・猪は尻尾であるが、国内統一されたものはわからない。写真添付もお願いしている。

条例の制定及び改正

議案第81号	あさぎり町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定について (社会教育法の一部改正に伴い、あさぎり町社会教育委員の委嘱の基準を定めるため)
議案第79号	あさぎり町生涯学習センター条例の制定について (あさぎり町生涯学習センター(旧免田中)を新たに設置するため)
議案第80号	あさぎり町文化財収蔵庫の設置及び管理に関する条例の制定について (あさぎり町文化財収蔵庫(旧免田中)を新たに設置するため)
議案第82号	あさぎり町図書館条例の一部を改正する条例の制定について (須恵文化ホール図書館を削除し、新たにあさぎり町生涯学習センター図書館を加える)
議案第83号	あさぎり町須恵文化ホール条例の一部を改正する条例の制定について (生涯学習センターの設置に伴い、図書館を多目的室に改める)
議案第84号	あさぎり町運動公園条例の一部を改正する条例の制定について (あさぎり町営単独住宅須恵中央ハイツの整備に伴い、須恵地区グラウンドの用途を廃止するため)
議案第85号	あさぎり町ヘルシーランド条例の一部を改正する条例の制定について (あさぎり町ヘルシーランドにおいて、指定管理者の利用料金制を導入するため)
議案第86号	あさぎり町高齢者コミュニティセンター(高山荘)条例の一部を改正する条例の制定について (あさぎり町高齢者コミュニティセンターにおいて、指定管理者の利用料金制を導入するため)
議案第87号	あさぎり町ふれあい福祉センター(温華乃遥温泉)条例の一部を改正する条例の制定について (あさぎり町ふれあい福祉センターにおいて、指定管理者の利用料金制度を導入するため)
議案第88号	あさぎり町鍼灸治療費支給条例等の一部を改正する条例の制定について (町が発送する公文書について、住民目線に立ったやさしい表現とするため)
議案第89号	あさぎり町定住促進条例等の一部を改正する条例の制定について (定住促進事業を延長し、町内求職者の雇用促進をはかるため) - 3年延長
議案第90号	あさぎり町駐車場条例の制定について (あさぎり町あさぎり駅前駐車場条例を廃止し、新たにあさぎり町駐車場条例を制定) 駅前駐車場→Aコープ前裏口、八幡駐車場→あさぎり交番の裏
議案第91号	あさぎり町標準小作料協議会条例を廃止する条例の制定について (平成21年の農地法改正に伴い、標準小作料制度が廃止され、改正農地法第52条により地域の実勢賃借料の情報を農業委員会で提供することになったことから)
議案第122号	あさぎり町の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について (代表監査委員の報酬の額を改定するため 6,800円/日→12,000円/日)

(指定管理者の指定について)

	施設の名称	指定管理者	指定の期間
120号	あさぎり町駐車場	あさぎり町商工会	H26.4.1より5年間
112号	ヘルシーランド	あさぎり町社会福祉協議会	H26.4.1より 2年間 指定管理期間は、設置者（町）における施設の今後のあり方を含めた経営改善施策の策定・実施に要する期間を2年とし、当該期間を指定管理期間とする
113号	高齢者コミュニティセンター高山荘		
114号	ふれあい福祉センター（温華乃遥温泉）		
115号	有機センター	(株)新和コンサルタント	H26.4.1より5年間
116号	ふれあい物産館	(有)あさぎり町ふるさと振興社	〃
117号	岡原農産物処理加工施設等	岡原やったる会	〃
118号	深田農産物処理加工施設	深田ふれあい会	〃
119号	深田農産物直売施設	〃	〃

【議員発議】

球磨焼酎は、ガラとチョコで盃を交わしながら飲み、球磨拳を楽しみ、食べ物は「ごちそうさん」の感謝の心と「もったいない」の精神で、胃袋に消費することを推進する条例を全会一致で可決。

〈提案理由〉

戦国時代に大陸から球磨へと伝わった焼酎とその製法。以来500年、最も古い由緒と伝統を誇り、その味と香りは杜氏たちの焼酎造りにかける情熱によって今も磨かれ続けている。

世界に誇る「球磨焼酎」の消費拡大と今日では焼酎の飲み方が変わりつつある中で、古き良き風習を見直し、ガラとチョコで盃を交わし球磨拳を楽しみ、出された料理は作る人への「ごちそうさん」の感謝の心と「もったいない」の精神を持って、食べ物はそれぞれの胃袋で消費することに努め、生ゴミ排出減量に町民挙げて取り組むことが、あさぎり町の財政健全化に大きく貢献する事になる。

あさぎり町誕生10周年を機に、古き良き伝統文化を後世に引き継ぎ地場産業育成と食育の充実を図るため、日本一長い条例を提案する。

提案者 溝口 峰男 議員

賛成者 永井 英治 議員



球磨拳の楽しみ方を実演する徳永議員・田原議員

◆3月第 10 回会議 議案表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
25年度一般会計補正予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26年度一般会計当初予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定及び改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成25年度 一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ**6億1,418万9千円**を追加し
歳入歳出予算の総額が

114億6,276万円で可決

主なもの
(歳出)

※公共施設整備基金積立金	1億0,857万4千円
※財政調整基金積立金	2億0,304万6千円
※農地費 工事請負費	1億8,910万円
設計委託料	820万円
※担い手育成基盤整備事業 資金償還金	2,075万円
※道路維持費・工事請負費	4,600万円
※道路改良費・工事請負費	3,397万円
※下水道事業特別会計繰出金	9,788万円

◎減額された予算もありますので、追加予算額と歳出の主なものの合計金額は合致しません。

永年在職議会議員表彰

3月14日 本町議会 溝口峰男議員が、町村議会議員として23年以上在職し功労があったとして熊本県町村議会議長会より表彰されました。
今後ご活躍を期待します。



錦町議会との交流会の開催

前年度の錦町議会活性化委員会のあさぎり町議会研修をきっかけに、4月10日あさぎり町にて交流会を開催しました。

お互いに球磨地域の中心地として情報交換を行いながら、よりよい町づくりに繋がりたいと活発な会となりました。



問 消防団年報酬の改定は

町長

すぐに改定をするという状況ではない



奥田 公人 議員

奥田 あさぎり町消防団は、町村合併以来、機械器具の導入と改善、詰所等の整備も

進み、充実した消防団活動に努めてきた。年報酬の改定には一度も取り組まれておらず、今日のような消防団員の減少が進む中においては、団員が少しでも魅力を感じるように報酬等の見直しも図るべきではないか。

総務課長 人吉球磨管内に限って比較すると、極端に高くもななく低くもなく、中ほどであるという認識でいる。全般的な団員の処遇の検討というのは当然、町としてすべきではないかと思う。

町長 報酬内容については球磨人吉の中での平均な水準にほぼ



平成26年出初式

近いところであさぎり町は支払いをしているので、すぐに改定をするという状況ではない。

奥田 定数が750名から現在720名で、減額分の団員報酬の上積みも現在の消防団員に付加してやるのはいかがでしょうか。

※その他の質問

◎あさぎり町自主防災組織の活動について。

問 地域包括支援センターの運営は

福祉課長

現状の町単独・直営がベターである



田原 健一 議員

田原 公立多良木病院の共同処理する事業の中で、上球磨地域包括支援センターに加わっていないのはなぜか。

福祉課長 当時、資格を有する職員の配置が町独自でできたことと

住民の方が身近に相談できる等利便性を考慮して町単独、直営でスタートした。

田原 人吉球磨圏域では広域行政組合を設立し、八つの事務を共同処理している。広域的に共同で行うことが効率的かつ住民サービスの向上につながれば上球磨四か町村で運営するのも一案ではないか。

福祉課長 共同で事業をしているのは上球磨三か町村のみ。町単独でやる方が身近に相談できる住民の利便性を考えた場合、現在のような直営がベターである。

田原 もし、公立病院が国保直診へ移行するならば、共同事業として検討したらどうか。

町長 サービスが後退しないような中で見極めていく。



本庁舎横、総合福祉センター内

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

問 少子高齢化の中、税の負担とサービスのバランスをどうするのか

町長 地域で生きがいのもてる社会と、予防医療を基本に取り組む



森岡 勉 議員

森岡 消費税増税に伴う物価の上昇や、高齢化の進行にと、現役世代の減少が、介護保険料の負担増になる。増大する社会保険給付と介護保険事業をどの様に運営していくのか。
町長 予防医療を念頭に、地域で生きがいをもてる社会を基本に、トータル的な介護とサービスの提供に組みみたい。
森岡 次期介護保険法の改正に向けた取り組みで、できるだけ住み慣れた地域で、在宅を基本とした取組みと、要支援・一二対策と、地域包括ケアシステムへの取組みはどうなるのか。
福祉課長 一月に4800人の高齢者の方にニーズ調査を実施しており、これを基に町の取組みを示したい。



一般質問

問 公の施設の指定管理の現状認識は

町長 指定管理制度の趣旨にそぐわない点もあると思っっている

小見田 温泉、ふれあい物産館等の指定管理は、民間のノウハウを用い、住民サービスの向上、経費削減も大きな目的と思うが、現状は、本制度にそぐわない不足払い方式が続けられている。運用改善策は。

町長 指定管理制度の趣旨にそぐわない点もあると思っっている。改善策として、26年度に向け、公募2件、また利用料金制度の導入を3件行う。
小見田 現場で働く人達の声を聞き、やる気を喚起する機会を設けるべきと思うが。
町長 年に一度でなく、時々協議しながら改善を図る。

小見田 上球磨消防庁舎の耐震化改修、西分署設置、消防組合の郡市一本化は、セットとして取り組む事が球磨郡内の消防力強化につながると思う。郡市の首長さんとの連携をより強めるべきと思うが。
総務課長 事務レベルの人吉球磨消防強化検討会が発足した。



小見田 和行 議員

指定管理制度（地方自治法改正）の概要
地方自治法の一部改正（平成15年9月2日施行）により公の施設の管理について、指定管理制度が導入された。
改正趣旨
公の施設のより効果的・効率的な管理を行うため、その管理に民間の能力を活用するとともに、その適正な管理を確保する仕組みを整備し、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的とする。

問 防火防災並びに救急医療体制の強化に 消防署西分署の設置を

町長 上球磨消防組合に文書で申し入れをしたい



徳永 正道 議員

る。公立多良木病院の医師不足により人吉総合病院への救急患者の搬送が多くなっている。これらの解決を図るには上球磨消防署の西分署を設置すべきと考えるが。

町長 消防車或いは救急車ともに遠い距離にある事から町としての大きな解決課題と認識している。まずはその条件として上球磨消防署と下球磨消防署の連携統合を優先課題として進めたい。

徳永 今の状況からしてそのような事は抜きにして、防災・防火・救急医療体制を強化する事が第一先決と考える。財政的な絡みもあるので、町長の胸の内もわかるが任期中に分署設置の道筋をつけて頂きたい。

町長 上球磨消防組合に文書でもって申し入れをする。



上球磨消防署東分署(水上村)

徳永 少子高齢化が進む中、消防団員の数が減少しており町でも自主防衛組織の協力が欠かせない事態となっている。昨年12件の火災が発生している。火災は迅速な初期消火が原則である。

問 これからの高齢者対策の充実への

取り組みは

町長

相互扶助への仕組みづくりを知恵と工夫で構築することが必要



加賀山 瑞津子 議員

加賀山 介護保険改正後も見据えた高齢者対策の充実について。

福祉課長 現在41行政区でサロン事業を実施している。今後全区開催を目指したい。

加賀山 今後空き施設をいかに活用するかがポイント。町の財源は厳しくなる一方、長野県栄村の「下駄履きヘルパー」のように自分達の地域は自分達で支える、そんな発想を町として発信し続けて欲しい。

町長 団塊の世代への対応も含め、介護支援が利用できる方が出てこれる可能性もある。お互いに助け合う仕組みを作っていくことは避けられない。

い。例えばボランティアが続くために何をしていくか等が今後の課題。知恵と工夫をもって仕組みを構築していくことが必要になってきている。

※その他の質問

◎生涯学習環境の充実について―地域の元気づくりは集まることが第一歩。行政主導でなく町民主体であることが大切では。

◎ふるさと納税(寄付金)について。

下駄履きヘルパーとは

人口2360人、高齢化率45%の長野県栄村で行われているヘルパー活動。

隣近所なら下駄を履いて真夜中でも、雪の中でも駆けつけられることから名付けられた。65才以下の7人に1人がヘルパーという地域。住民パワーによる、住民による安心ネットで高齢者が住み慣れた郷土で暮らせる村づくりを目指して行われている。

問 地域の防災リーダーの育成は

町長

年に1、2回は防災の意識づけの講座を開きたい

橋本 第2次あさぎり町総合計画の中で、生命財産を守る防災防犯交通安全対策の充実を図る上で、地域の防災リーダーの育成をどう考えるか。

総務課長 地域防災の中心は、消防団と認識している。消防団の育成強化プラス消防団OBを含め、地域の役員さんでリーダーの方々の育成の手伝いをしていきたい。

橋本 自主防災のリーダー育成の講座を開く考えはあるのか。

総務課長 具体的に定期的な講座になるか別としてそういう場をなるべく多く設定して、地域の中で防災に対しての認識を深めリーダーの養成についてお手伝いをしていきたい。



橋本 誠 議員

橋本 町・地域づくりは「人づくり」。地域での町の果たす役割は。

町長 人の意識が大事だと思うので年1回か2回かは、防災の意識づけの講座を

開き今年も避難訓練を行い

たい。町の活性化

に及んで

も人に焦点を当て

て前向きに活動し

ていく環境を作っ

ていきたい。

※その他の質問

◎森園サッカー場の利用者増加を図る対策について



柳別府地区消防AED訓練

問 2つの温泉施設の今後は

町長 2年の指定管理期間内に方向性を見出したい

永井 ヘルシーランドと温華乃遙温泉の2つの温泉施設には、毎年高額な指定管理委託料を払い続けている。1つの町に同じような公共の温泉施設が2つも存在する事自体、非常に疑問に思うが。

副町長 2つの温泉施設の存在意義と役割を見直す意味でも、今回指定管理期間を2年と決めた。2つの施設の役割は、設立当時の地域性も尊重する必要があるし、町民の皆さんがどのように判断しておられるかは大変重要な要素だ。

永井 公共の温泉はどちらから1つにして、もう1つは色々な活用策を考えた方が良くはないか。

町長 それぞれの温泉が果たした役割、目的を認識した上で、それぞれの地域が利用者の皆さんと共に、地域の活性化を維持できる事をどう見出していくか、2年の指定管理期間内に議会と共に方向性を見出したい。



永井 英治 議員



ヘルシーランド



温華乃遙温泉

問 少子高齢化による人口減少と財政規模の縮小を前提とした行財政運営は

町長 人口減少を前提として運営を行っていく



久保 尚人 議員

久保 あさぎり町では、昭和60年以降人口が減り続け、社会保障費の増加、各家庭の収入の低下、金融資産の取り崩しが起こっている。

11～2年後には生産年齢人口が極端に減ってしまうことを強く認識するべき。

人口オーナス期の地域が経済成長を維持するには、①社会保障を整備し、世代間格差は正に取り組むこと、②女性や高齢者の雇用を促進することで労働力率を高めることなどが重要である。

以上を考慮して、町民が幸せを感じられる政策を策定していくべきだ。

町長 少子高齢化が進んで人口が減

少することは前提条件として捉えている。①と②は大事だと考える。

久保 普通建設事業の削減等が避けられない財政状況になり大きな痛みが伴う場合、職員の人件費、議員報酬等も含め、議論するべきでは。

副町長 公共事業は補助事業を主として一般財源はあまり使わず建設債も3億5000万円の上限を設け、後世に負担を残さないよう努力する。

「人口オーナス」

人口構成の変化が経済にとってマイナスに作用する状態。オーナスとは、「重荷負担」という意味。逆に、人口構成の変化がプラスに作用する状態を「人口ボーナス」という。少子高齢化の進む日本では、人口に占める働く人の割合が低下しており、経済政策などを考えていく上で人口オーナスが重要なキーワードになっている。

「生産年齢人口」

年齢別人口のうち労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口層。これに対し15歳未満の年少人口と、65歳以上の老年人口を合わせたものを被扶養人口という。

一部事務組合及び常任委員会報告

人吉球磨広域行政組合

議会報告

平成26年2月27日午前10時より人吉球磨グリーンプラザ・大会議室にて、平成26年度第1回定例会が開催され、会期を3月28日までとした。

初日は、議案第1号から14号までの議案が提案された。

第1号の規約の一部変更・第9号から14号までの条例の一部を改正する条例の制定は原案のとおり可決された。

議案第2号は、一般会計25年度補正予算で、免田し尿処理場解体工事に係わる工事費並びに施工管理業務委託費の減額8,314万1千円による債務負担行為補正及び免田葬祭場施設整備事業費の減額120万円による地方債補正が主なものである。

議案第3号は、ふるさと市町村圏特別会計補正予算（減額1,993万3千円）、議案第4号、特別養護老人ホーム特別会計補正予算（増額322万7千円）は、原案のとおり可決された。

◎議案第5号 平成26年度一般会計予算25億4,015万4千円

◎議案第6号 ふるさと市町村圏特別会計予算1億5,184万1千円

◎議案第7号 特別養護老人ホーム特別会計予算3億7,479万7千円

◎議案第8号 一般会計経費の負担金の総額（あさぎり町負担金2億9,260万7千円）については、3月28日に審議採決することにした。

上球磨消防組合議会報告

平成25年第2回定例会が、平成25年12月24日に開催され、平成24年度一般会計歳入歳出決算が、歳入総額、6億177万1千6百円、歳出総額が6億178万2千円、歳入歳出差引額159万3千4百円の報告があり、原案の通り認定された。

また、平成26年第1回定例会が、2月28日開催され、平成26年度一般会計歳入歳出予算が、10億5千万円とする提案があった。今年度は、前年度に比べて5億3400万円の増額予算であるが、これは、「消防救急デ

デジタル無線整備事業」等に関わる増額であり、これには「緊急防災・減債事業債」を起債するとの説明があり、審議の結果原案の通り可決された。

球磨郡公立多良木病院 企業団議会報告

第1回定例会は、3月3日に開催され、一般質問では住民が心配する医師招聘活動や病院運営について質問があった。行政報告では、医師不足で診療への影響が出ているが、招聘活動の成果も現れていること等が報告された。26年度の病院、老健、検診事業の収益的収入を43億4,903万円、純利益を380万円と見込む。あさぎり町の負担金は、老健事業の特別交付税2,073万8千円を主とする2,278万2千円。

総務文教常任委員会

平成26年1月31日(金)
中学校の授業状況、グラウンドの整備の進捗状況を視察した。
グラウンドの整備状況に関しては計画通りに進んでおり、目的である排水対策の解決を期待するものである。グラウンド視察時に周辺の樹木が体育行事に支障をきたすのではないかと委員より指摘があった。

その後クラス毎に分かれて生徒達と給食を共にした。保温状態について心配があったが、メニュー内容等の感想を聞いたところ「毎日美味しく食べている」「満足している」との返事があった。



グラウンド排水対策工事の状況確認

厚生常任委員会

平成26年2月6日(木)

- ①乗合タクシー運営状況
 - ②あさぎり町福祉タクシー料金助成事業
 - ③JAくま福祉の里「木綿葉」第二施設建設計画
 - ④廃プラスチック等中間処理施設工場。
 - ⑤温泉施設の指定管理。
- 5つの事業について説明報告を受けた。
- ヘルシーランド、ふれあい福祉センター、高山荘



廃プラスチック等中間処理施設(宇土市)

の3つの温泉施設の指定管理者をあさぎり町社会福祉協議会とし、指定管理期間を2年間とするとの報告があった。2年間で事業を見直し方向性を示すことについて、委員会としては妥当であると判断した。

建設経済常任委員会

平成26年3月4日

- (1)農林振興課から町有林・財産区の平成26年度伐採計画について畜産事業補助金の見直しについてふれあい物産館の指定管理について
- (2)商工観光課から販路拡大事業について
- (3)上下水道課からあさぎり町水道整備基本計画について

下水道料金賦課漏れ問題の状況について説明を受け審議をした。

2、平成26年2月24日

- (1)農林振興課からふれあい物産館の指定管理について
- (2)商工観光課から販路拡大事業について。

委員会の意見

①ふれあい物産館の指定管理先である(有)あさぎり町ふるさと振興社が、販路拡大事業も委託され事業を実施するが、(有)あさぎり町ふるさと振興社の運営は、町の補助金と指定管理委託料が主である。

そのなかで、補助金が毎年減額されその分を他の事業から収入を得なければ会社の継続は非常に厳しい状況である。

早急に(有)あさぎり町ふるさと振興社の抜本的改革を行い事業収益が見込める部門を強化していくことに努めること。

付託案件の報告

1、平成25年度12月定例日に委員会付託となった町道下里高山B線と町道植深田高山A線の舗装要望については、去る2月13日、建設課から説明を受け現地調査を行い、委員会としては、公益性、利便性からも妥当であるとの意見の一致をみたので採択することとした。



深田下里高山線

2、諏訪神社から多良木町松ヶ野地区へ通じる町道の舗装の要望については、費用対効果を建設課へ調査依頼し継続調査とした。

町の声

〈表紙写真〉
上段：くま川鉄道田園シンフォニー運行始まる。
下段：平成26年度消防団入返団式における新入団員の誓い



岡原熊野
杉山智美

給食の試食会に参加して

新学期を前に、東の間の春休みに心躍らせる子ども達。

娘と一緒に高校の合格発表を見に行き、お世話になった方々に喜びとお礼のご報告をした一年前の事が思い出されます。生活もガラリと変わり、一番の電車に乗る子どもに、私は早起きして弁当を作り、主人は駅まで娘を送ったり、夜は交代で塾の送迎と、毎日が慌ただしくなりました。下の息子は中学生なので毎日給食です。

先日、給食の試食会に参加させていただいたのですが、限られた予算の中で栄養バランスを考え熊本の特産品を使ったり、いろいろな土地の名産品を使って工夫をされたメニューだったり、時には珍しすぎて、「普通の定番のメニューで良いのに。」と子ども達が言うこともあります。調理される方をはじめ給食にたずさわっておられる方々の苦労やご協力により、子どもたちが給食を食べさせても

らえる事に有難さを実感させられました。

たまたまかもしれませんが、この日参加された方の多くはご高齢の方々でした。学校のPTAなどであさぎり中学校でも給食費の未納があると聞きました。そういうった方々も含め、実際に給食を食べている子どもたちの親世代の方々にもっと参加していただき、お弁当を毎日作らなくても、しっかりとした内容の濃い昼食を食べさせられる、給食の有難さを体験して気づいていただけたらと思います。

これからも、子どもたちの為に、美味しい給食をよろしくお願いします。



免田西
尾方英優

今後も安心して暮らせるあさぎり町を

私が就農し、あさぎり町に住む農業後継者の一人となって8年が過ぎました。そして、私が生まれた年から続いている我が家のコシヒカリの田植えも4月で32回目を迎えます。

毎日が自然と付き合いながらの作業です。

農業はあさぎり町の主要な産業の一つであり、町全体が高齢化という問題を抱えています。このまま高齢化が進み、働き手が減少すると、生産力が低下しさらには税収へと影響を与えるのではないかと考えます。

そのためにも農業後継者育成の支援を希望します。農業がもっと多くの方から後を継ぎたいと言える産業になったらと思います。

また、限られた予算の中で大変とは思いますが、全体とのバランスを考えて町民が快適に暮らしていくためにも高齢社会対応のインフラ整備の推進も必要です。今後も安心して暮らしていけるあさぎり町となりますよう町当局・町議会のみなさまのご尽力に一町民として期待をしております。

編集後記

3・4月の別れと出会いの季節が終わり、春暖かい過ごしやすい時期となりました。

早いもので、新メンバーによる広報調査特別委員会も1年が経ち、今号が最後の編集となりました。町民の皆様の手にとってもらえるよう、わかりやすく読みやすい誌面づくりを心掛けて、やってききましたが、まだまだ不十分なところが多かったと反省しています。議会改革の一環として今後も議員活動、町民の皆様の声が届くよう頑張りたいと思いますので、宜しくご協力をお願いします。
(豊永喜一)



編集・発行責任者 議長 橋爪和彦

広報調査特別委員会

委員長 豊永喜一
副委員長 加賀山瑞津子
委員 橋本誠、久保尚、小出高、溝出口明、久保誠

発行/あさぎり町議会 編集/議会広報調査特別委員会
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265
E-mail: syoki-gikai@town.asagiri.lg.jp 印刷: 菊ノコーグラフィックス

あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。